

モバイルパワーステーション

TOZAI

品番 **MU2000WE**

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1
<ご使用になる前に必ずお読みください>	
使用上のご注意	6
主な特徴	7
各部の名称と働き	
1. 各ユニットの名称	8
2. モバイルパワーの充電	11
3. モバイルパワーの使用	13
4. LCDディスプレイ	14
輸送と保管・保護	17
トラブルシューティング	18
仕様	20
保証書	21

- この説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保存し、ご不明な点がございましたら再読してください。
- 保証書は必ず「販売店/購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

付属品をお確かめください。



ACケーブル



ソーラーケーブル



シガーソケットケーブル



蓄電池カバー



六角ドライバー



プラスマイナスドライバー



ケース

簡易工具

安全上のご注意

この取扱説明書の文中に出てくる「モバイルバッテリーステーション」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。

本機及び付属品をご使用になる時は事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上必ずお守り下さい。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

絵表示の例

注意（警告を含む）を促す記号

行為を禁止する記号

行為を強制したり指示する



高圧注意



接触禁止



プラグをコンセントから抜く



警告

電源コードや電源プラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、損傷させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、加工しないでください。
- 重いものを乗せたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにしてください。

- 電源コードの表面のビニールが解けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っばらずにかならず電源プラグをもって抜いてください。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります

キャビネットを開けないでください。

内部には高電圧部分があるため、**感電の原因**となります。

お客様による修理は、絶対しないでください。内部の点検、調整、修理はお買い上げ店にご依頼ください。



高圧注意



分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、**感電や火災の原因**となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔などから金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落としたりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

本製品は非防水です。



水場での使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。**感電の原因**になります。



接触禁止

本機は国内専用です

電源プラグを指定の電源電圧以外にはつながないでください。充電する場合は、ACV100VまたはDC12~20Vで行ってください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



指定の電源電圧以外禁止

可燃物の周辺で使用しない

火災やけがの原因となります。



禁止

医療機器には絶対に使用しない

医療機器や使用上生命にかかわるような機器では絶対に使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止

設置場所や取り付けには気を付けて

水平で安定した場所に設置する

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下による**けがや物損事故の原因**となることがあります。

また台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。



禁止



注 意

通風孔をふさがない

本機の通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密封したラックの中に入れてください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布や布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は壁から10cm以上の間隔をあけてください。



禁止

温度が高いところや湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところ、塩害や科学性ガスの影響を受けやすいところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



禁止

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）



プラグをコンセントから抜く

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントや電源プラグの点検を

長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏洩電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。

電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。
- 電源を切っても、待機電力が使われています。

完全に電源を切るには、バッテリー電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。

長期間の外出やご旅行のときなどにも、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。



禁 止

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学雑巾の使用は、注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。

もし、異常がある時はすぐにお買い上げ店または、サービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。



異常時の処置

故障のまま使い続けると、**火災や感電、けがの原因**となります。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音やにおいがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、一部を破損した。
- 正常に動作しない（動作が不安定など）。
- 電源コードや電源プラグに傷がある。



プラグをコンセントから抜く

ただちに、バッテリー電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

使用上のご注意

取扱いについて

- 外部機器を本機に接続する際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、説明に従って接続してください。
- 本品の定格出力（2000W）を超える電力を使用する機器を接続しないでください。過負荷保護機能は働きますが、機器の劣化などにより、故障・火災につながる可能性があります。また、掃除機、冷蔵庫、洗濯機などモーターを有する機器では、消費電力の数倍の電力を使用することがあり、定格以下の機器においても正常に動作しない場合があります。
- 充電する際は周囲の温度が5～40℃の範囲内で使用してください。範囲外の温度での充電では、バッテリーの性能および寿命の低下を招き、漏液や火災、爆発の原因になる場合があります。
- 短期間でも本機のバッテリーを完全放電した状態では放置しないでください。バッテリーの性能および寿命を低下させるとともに、満充電することができなくなります。
- 使用しない場合でも3か月に1回は点検し、満充電されているか確認してください。バッテリーが満充電されていない場合は、性能を十分に発揮することはできません。

■ 医療機器や重要な事業用・公共用機器及びタイマー、計測器などには絶対に使用しないでください。

- ACアダプターをラジオなどの機器に近づけないでください。ノイズが入る場合があります。

点検について

本機に次のような点がないかよくお確かめの上、ご使用ください。

- 充電用ACアダプターや充電用DCコードは傷ついていませんか。
- バッテリーは充電されていますか。
- バッテリーが古くなっていませんか。
- 本体に亀裂、へこみなど損傷箇所はありませんか。
- 本体または付属品が水に濡れていませんか。
- 本製品内部からバッテリー液が漏れていませんか。

主な特徴

免責事項

- 火災，地震，風水害，落雷，その他の天災地変，公害や異常電圧，その他外部要因による故障および損害によって生じた障害に関して，当社は一切の責任を負いません。
- 本書に記載の内容を守らないことによって生じた損害に関して，当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用およびほかの接続機器との使用または使用不能から生じる損害（事業中断，逸失利益など）に関して，当社は一切の責任を負いません。

バッテリーの交換について

- 寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換をしてください。使用を続けると発煙や発火，場合によっては火災を引き起こす可能性があります。
- バッテリー交換時期は，ご購入時からバッテリー容量が約50%まで減った時が目安となります。
（例　ご購入時1時間持っていた機器が，30分程度しか持たなくなった時期が交換時期です）
- 交換はお客様ご自身では行わず，お買い上店または，サービスセンター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。

無停電機能内蔵

簡易UPSとして使用できます。停電の時などにパソコンなどのバックアップに使用できます。

正弦波インバータ回路内蔵

扇風機などの2000W以下の家電製品を安全に使用いただけます。

USB充電端子付き

スマートフォンやほかの携帯電話やゲーム機の充電が可能です。

車のシガーソケットからの充電に対応

車で移動中に充電できます。DC12Vシガーソケットを使用してください。

ソーラーパネルからの充電に対応

ソーラーパネル（別売）より充電ができます。

MU2000WE専用設計された折り畳み式ソーラーパネルMUP-200Fをご使用ください。

各部の名称と働き

1. 各ユニットの名称

1.1 主な構成と名称



- ① **出力パネル**：モバイルパワーの電源と出力ソケット
- ② **充電入力パネル**：モバイルパワーの充電入力ソケット
- ③ **キャリングハンドル**：このハンドルでモバイルパワーを持ち上げます。
- ④ **ドローバーハンドル**：移動の際にはこのハンドルを引いて動かします。
- ⑤ **フロントハンドル/リアハンドル**：この2つのハンドルで、2人で簡単にモバイルパワーを運ぶことができます。

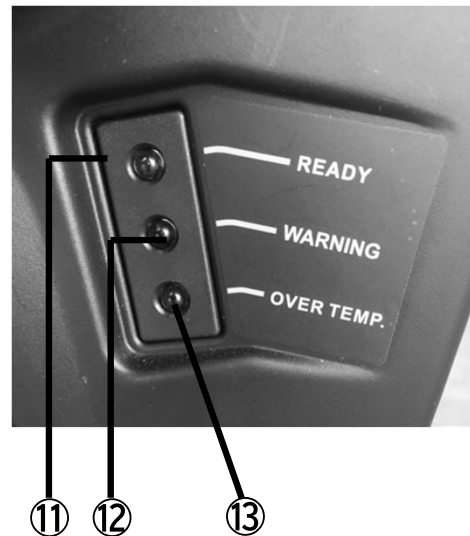
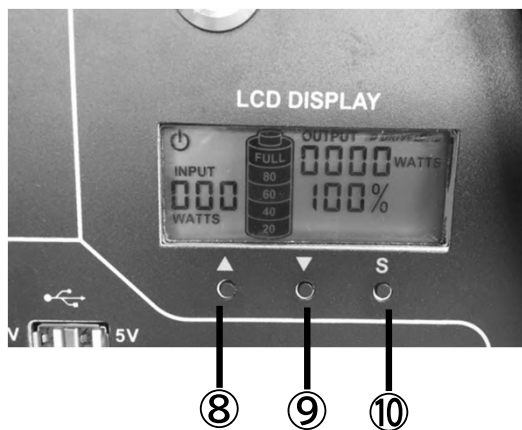
※1 バッテリー残量が20%以下になりましたら必ず充電をしてください。

※2 ご使用後は必ずメインスイッチをお切りください。

1.2 出力パネル



- ① **メインスイッチ**：モバイルパワーのメインスイッチをオンまたはオフにします。ACスイッチは、メインスイッチがオンになった後にのみ使用できます。DC出力は使用できます。
- ② **ACソケット**：ACデバイスを接続するためのAC出力ソケット。（4口）
- ③ **ACスイッチ**：モバイルパワーAC出力をオンまたはオフにします。
- ④ **シガレットライターソケット**：シガレットライタープラグ用の12V DC出力ソケット。（1口）
- ⑤ **USBソケット**：USBプラグ用の5V DC出力ソケット。（2口）
- ⑥ **6mmポート**：6mmプラグ用の12V DC出力ソケット。（1口）
- ⑦ **LCDディスプレイ**：バッテリーの残量、入力出力W数、残り稼働時間、バッテリー充電時間、バッテリー電圧、総稼働時間、エラーを表示します。モバイルパワーの充電中は、LCD画面のバッテリー表示が点滅します。すべてのバッテリー箇所が点滅を停止し、点灯したままになると、充電完了です。



⑧ **ディスプレイボタン▲**：1回押すとバックライト点灯させ、バッテリーの残量を表示します。2回押すと合計稼働時間を表示します。

⑨ **ディスプレイボタン▼**：1回押すとバックライトを点灯させバッテリー電圧を表示します。

⑩ **ディスプレイボタンS**：1回押すとバックライトを点灯させます。

⑪ **READYLED表示**：AC出力の準備が完了すると点灯します。

⑫ **WARNINGLED<警告LED>表示**：次の問題が発生すると、ライトが点灯し点滅します。

- AC出力の過負荷
- AC出力のショート
- AC出力の電圧不足
- AC出力の過電圧
- インバータの過熱
- バッテリーの電圧不足
- バッテリーの過電圧

⑬ **OVER TEMP.LED<過熱LED>**：モバイルパワーが過熱状態となると点灯し点滅します。

お買い上げ店またはサービスセンター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

1.3 充電入力パネル



本機は50Hz、60Hz専用機となっておりますが通常の60/50Hz機器でのご使用は問題なくご使用いただけます。

(注) 50Hz対応機器での60Hz蓄電池、60Hz対応機器での50Hz蓄電池のご使用はお控えください。

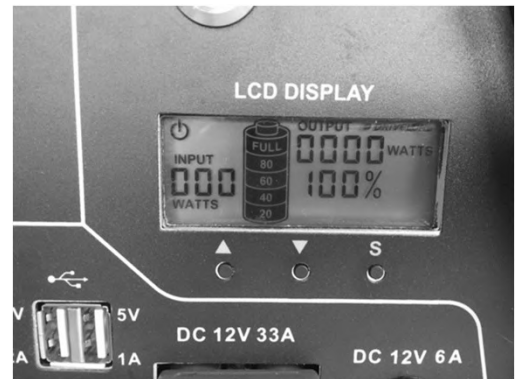
- ① **PV充電入力**：ソーラーパネルから充電します。（ソーラーパネルは充電（方式電圧）と専用に設計されたソーラーパネル（オプション）をご使用ください。仕様が異なるソーラーパネルでの充電は重大な事故の原因となることがあります。
- ② **DC充電入力**：車または任意の12V～24V・最大100W 電源から充電します。
- ③ **AC充電入力**：壁の100V ACコンセントまたは100V AC電源（純正弦波発電機）から充電します。

2. モバイルパワーの充電



注 意

- モバイルパワーの充電中は、出力パネルの充電表示がオンになり、ゆっくり点滅します。
- バッテリーが完全に充電されると、充電表示の点滅が止まり、100%表示になります。
- モバイルパワーの充電中は、LCD画面のバッテリー部分が点滅します。
- モバイルパワーが完全に充電されると、LCD画面のすべてのバッテリー部分が点滅を停止し、点灯したままになります。



2.1 PV充電入力：

次のように、ソーラーパネルからモバイルパワーを充電できます。



- ① 付属のソーラーケーブルで、PV充電ポートからソーラーパネルのMC4ポートに接続します
- ② ソーラーパネルの出力が200W時には、バッテリーは約10.5時間以内に完全に充電されます。
(400W充電時7.0時間、
600W充電時3.5時間)

2.2 AC充電入力：

次のように、壁コンセントまたは100VAC電源からモバイルパワーを充電できます。



- ① 付属のAC充電ケーブルでAC充電ポートから壁のコンセントに接続します。
- ② バッテリーは、壁のコンセントから約9時間以内に完全に充電されます。(AC入力定格容量220W)
- ③ 発電機からの充電も可能ですが、出力500W以上・インバーター出力の発電機をご使用ください。ただし発電機によってはモバイルパワーへの充電ができない場合もございます。

2.3 DC充電入力：

次のように、自動車または任意の12V電源からモバイルパワーを充電できます。



- ① 付属のシガーソケットケーブルでDC充電ポートから、車の12Vのシガーライターソケットに、接続します。
- ② バッテリーは約20時間以内に完全に充電されます。



注 意

車からモバイルパワーを充電するときは、車のエンジンが作動している必要があります。

3. モバイルパワーの使用



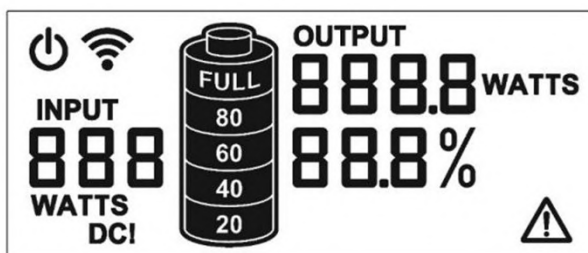
3.1 DC動作

次のように、モバイルパワーからDC出力を使用できます。

- ① メインスイッチ①を「オン」の位置まで押します。
- ② 12VDCの電気機器へ出力する場合には6mmポート②もしくはシガーソケット③のうち対応するソケットに接続してください。
- ③ USBソケット④は出力 DC 5Vです。1Aと2Aの定格出力電流を選べます。

注意

- コンセントの負荷電流がコンセントの定格電流内であることを確認してください。
- DC出力が過負荷（定格電流超え）の場合、または接続された機器にショートが発生した場合、LCDディスプレイ9にDC!アイコンと!のアイコンが表示され（下図を参照）、接続されている機器のDC出力が遮断されます。



3.2 AC動作

次のように、モバイルパワーからのAC出力を使用できます。

- ① メインスイッチ①を「オン」の位置に押します。
- ② ACスイッチ⑤を「オン」の位置に押します。
- ③ Ready LED ⑥が点灯することを確認します。
- ④ プラグをACソケット⑦いずれかに接続します。

本品の定格出力は2000Wです。

ACソケット4口の出力合計2000Wを超えての使用はできません。1口の最大出力は1500W（15A）まででご使用ください。

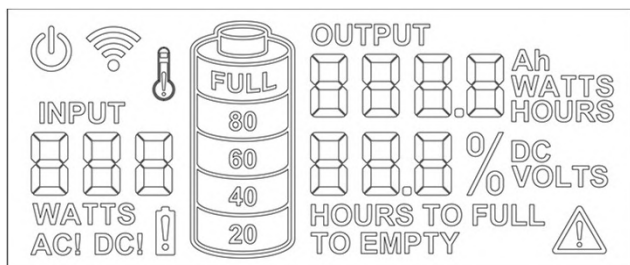
警告

- AC出力電圧が非常に高いため、作業者は常に感電から保護する必要があります。
- 濡れた手で操作しないでください。
- 大人の監督下以外で子供に操作させないでください。
- 雨、湿気、雪にさらさないでください。

注意

- モバイルパワー接続前にケーブルおよびプラグ接続を含むすべての電気装置が良好な状態であることを確認してください。
- 総AC負荷値がモバイルパワー定格出力内であることを確認してください。
- モバイルパワーが過負荷状態である（定格電力を超えている）場合、または接続機器にショートがある場合、警告LED⑧がオンになり、接続機器へのAC出力がオフになります。

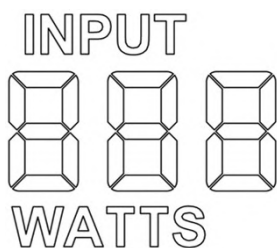
4. LCDディスプレイ



▲/▼/S 3つのボタンのいずれかを押すと、ディスプレイのバックライトをアクティブにできます。内蔵LCDディスプレイには、以下のとおり重要な情報が表示されます。

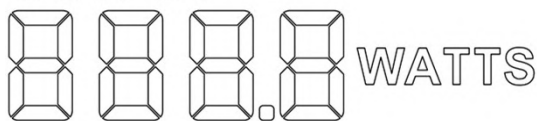


バッテリーアイコン：充電中は、LCD画面のバッテリー部分が点滅します。完全に充電されると、すべてのバッテリー部の点滅が停止します。バッテリー残量が少ない場合、バッテリー部は空白になり、再充電を促すために点滅します。

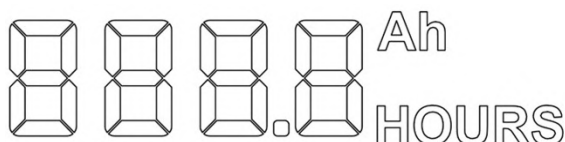


INPUTは、充電中にバッテリーに供給される電力量（ワット）を示します。ソーラー充電時には、パネルの配置場所により、ワットが変化します。

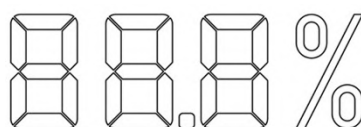
OUTPUT



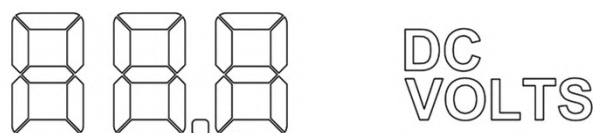
OUTPUT：モバイルパワーに接続されているときに使用している電力量（ワット）を示します。



ボタン▲を1回押すとバッテリーの残り容量がAhで表示され、ボタン▲を2回押すと総稼働時間がHOURSで表示されます。



バッテリーの残容量を%で表示します。

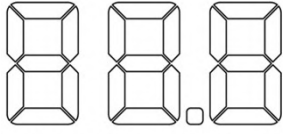


▼ボタンを押すと電圧が表示されます。

DC電圧出力（表示）はDC65Vからの表示となります。

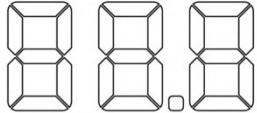
（注）DC65V以下での出力は行われていますので安心してご使用ください。

***LCDディスプレイは操作後10分間点灯し続けます**



HOURS TO FULL

充電中のバッテリーの残り充電時間を表示します。



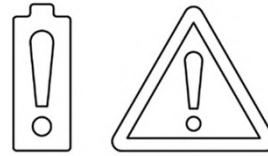
HOURS TO EMPTY

放電中のバッテリーの残り稼働時間を表示します。



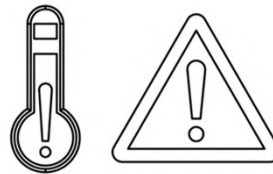
エラーコード032は、DC出力が過負荷またはショートしていることを表します。

DC機器/ケーブル/プラグをチェックし、機器の電力を減らしてください。



エラーコード004は、バッテリー電圧が低すぎることを表しています。すぐにバッテリーを充電してください。

エラーコード008は、バッテリー電圧が高すぎることを表しています。すぐにバッテリーの充電を停止し、正規代理店に連絡してください。



エラーコード016は、モバイルパワーの温度が高すぎることを意味します。

すべての機器の電源を切り、モバイルアイコンを涼しい場所に置いて、警告アイコンが消えるまで冷ましてください。

5. エラーコード一覧票

コード / アラーム・LED点滅	原因	対処方法
0004	バッテリー低電圧保護	接続機器を本体から外して再度充電してください。
0008	バッテリー過電圧保護	販売店様またはサービスセンターへご連絡ください。
0016	MU 2000WE 本体過熱	警告LEDが消えるまで本体を冷やしてください。
0032	DC出力の過負荷または短絡	接続機器の容量を減らしてください。または接続機器を交換してください。
アラーム音 3回 警告LED 3回点滅	AC出力の過負荷または短絡	接続機器の容量を減らしてください。または接続機器を交換してください。
アラーム音 5回 警告LED 5回点滅	MU 2000WE内インバータ過熱保護	本体の電源を切り本体を冷ましてからACスイッチを入れなおしてください。
アラーム音が連続して鳴り続ける	バッテリー残量不足 (20%以下)	メインスイッチを切り、AC/DC/ソーラーいずれかより充電してください。

* 上記エラーコード・対処方法は本体MU 2000WE裏面にも掲載しております。

輸送と保管・保護

輸送と保管

- モバイルパワーを輸送および保管する前に、メインスイッチをオフにしてください。
- 6ヶ月以上保管する場合は、モバイルパワーをフル充電しておく必要があります。入力電源ケーブルははずしておいてください。
- モバイルパワーは、少なくとも12ヶ月に1回フル充電する必要があります。
- すべての冷却穴を開いたままにし、がれき・泥・水などは入らないようにしてください。冷却穴はモバイルパワーのフロントパネルとバックパネルにあります。冷却穴がふさがれていると、モバイルパワーが過熱してバッテリーやインバータを損傷する可能性があります。
- モバイルパワーを上下逆にすることはできません。

保護

1. 入力保護

- バッテリー充電保護：バッテリーが完全に充電されると、充電入力自動的にシャットダウンし、充電ライトが点滅を停止します。
- バッテリー低電圧保護：バッテリー電圧が低すぎる場合、DCおよびAC出力は自動的にシャットダウンします。エラーコード004がLCD画面に表示されます。すぐに充電をしてください。
- バッテリー過電圧保護：バッテリー電圧が高すぎる場合、充電入力は自動的にシャットダウンします。エラーコード008がLCD画面に表示されます。すぐに販売店へご連絡ください。

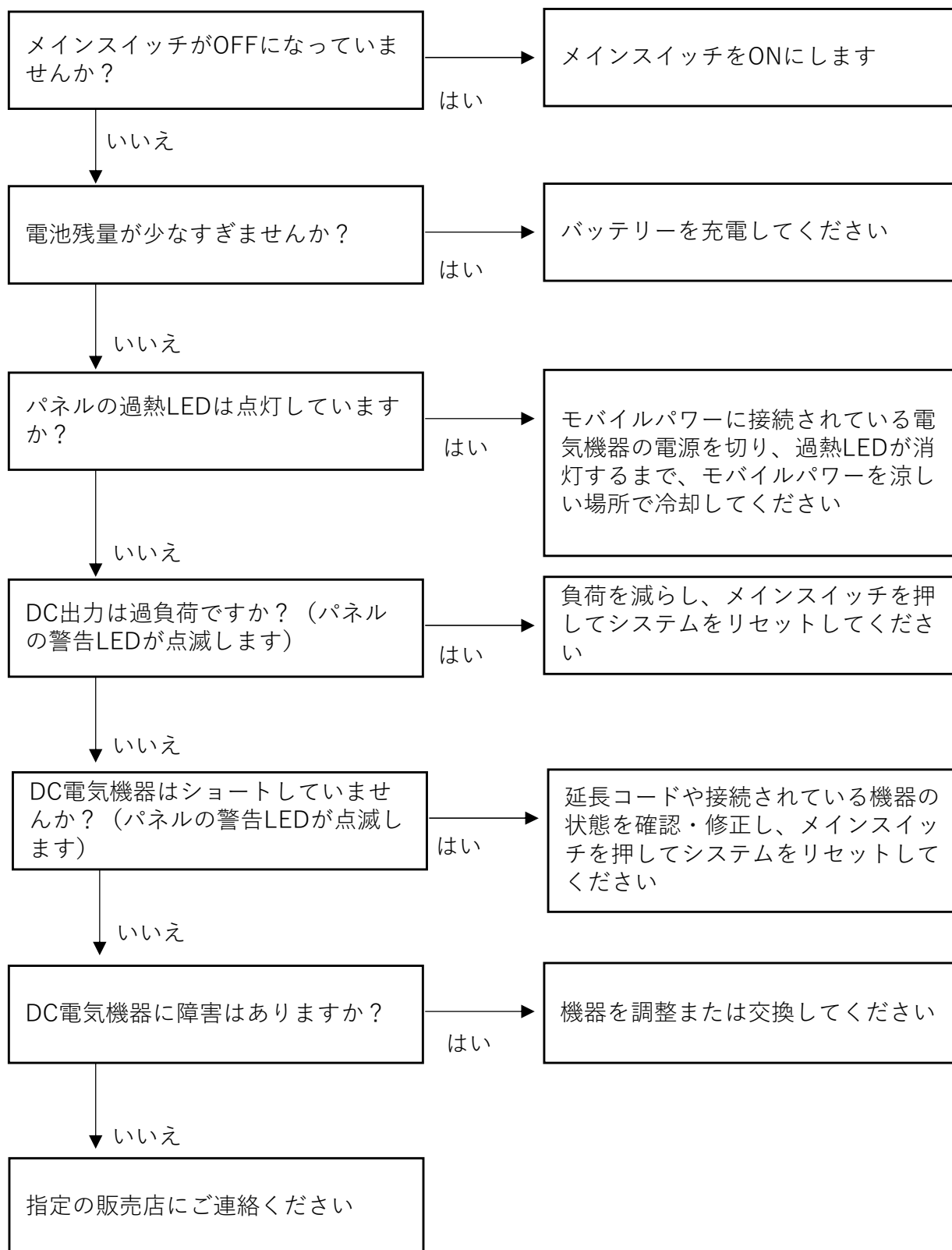
2. 出力保護

- AC出力が定格電力の過剰による過負荷またはショート時には、AC出力が自動的にシャットダウンします。アラームブザーが3度鳴り、同時に警告LEDが3回点滅します。負荷を減らしたり、ショートの問題を解消したりし、ACスイッチをリセットすると、AC出力を回復できます。
- DC出力が過負荷またはショート：DCおよびAC出力が自動的にシャットダウンします。エラーコード032がLCD画面に表示されます。負荷を減らしたり、ショートの問題を解消したりし、メインスイッチをリセットすると、DC出力を回復できます。
- インバータ過熱保護：インバータの温度が高すぎると、AC出力が自動的に停止します。アラームブザー5度鳴り、同時に警告LEDが5回点滅します。接続されている電化製品の電源を切り、モバイルパワーを涼しい場所に置いて冷やしてから、ACスイッチをリセットします。
- 過熱保護：モバイルパワーの温度が高すぎる場合、充電入力・DCおよびAC出力は自動的にシャットダウンします。エラーコード016がLCD画面に表示され、過熱LEDが同時点灯します。モバイルパワーに接続されている電化製品の電源を切り、モバイルパワーを涼しい場所に置いて、警告LEDが消えるまで冷やします。

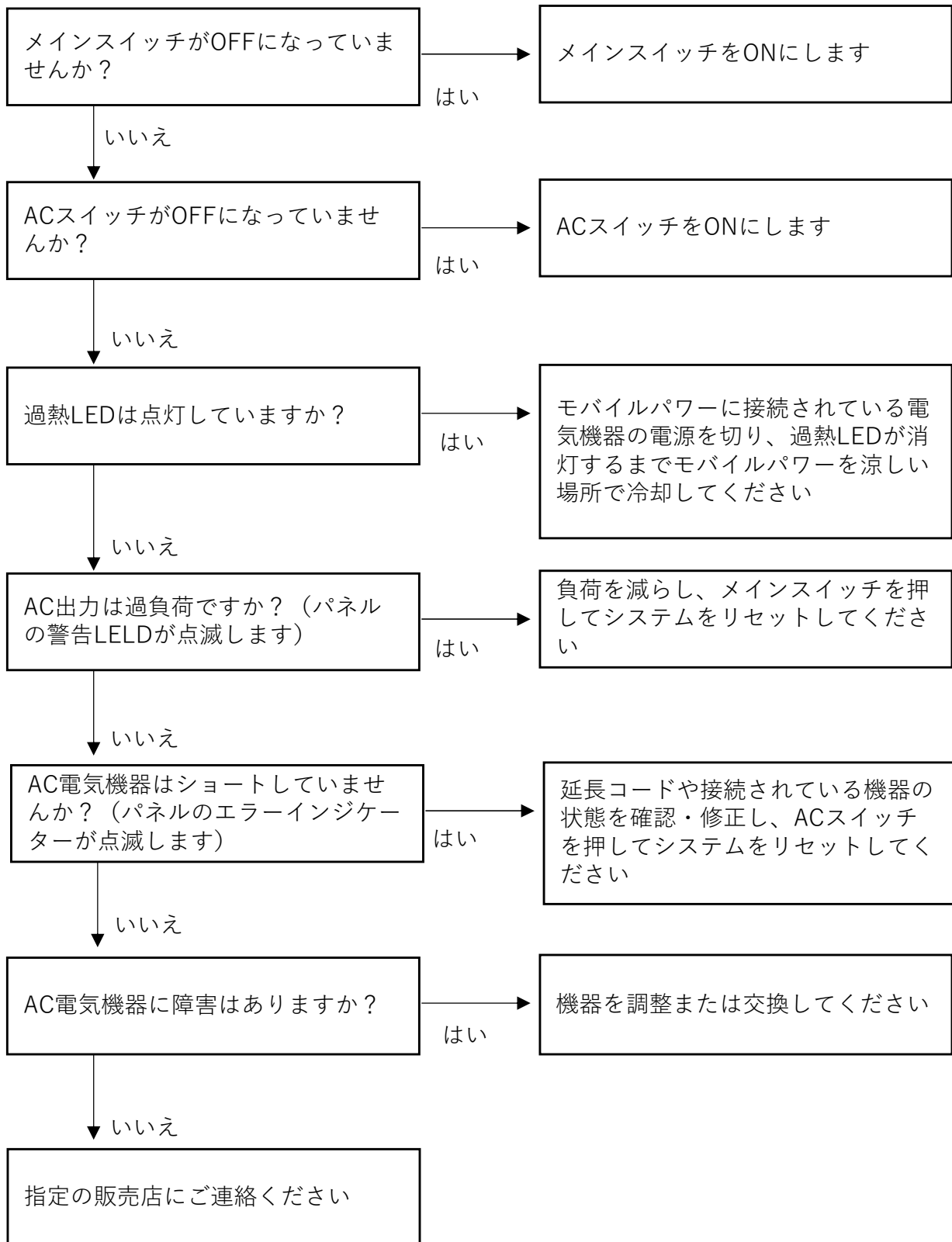


トラブルシューティング

DC出力できない



AC出力できない



仕様

MU 200WE 仕様書

定格電力	2000W
サージ電力	4000W
寸法	530 x 320 x 430mm
重量	36kgs
バッテリー	LifePO4/2048Wh/80AH/ 25.6V
バッテリーサイクル寿命	>2000サイクル (容量維持率70%)
バッテリー交換	可能
<出力>	
AC100V	50/60Hz 純正正弦波、 THD<3% 4口
DC12V	10V シガーソケット 1口
DC5V	USB 5V/1A/2A 2口
<充電入力>	
AC100V	コンセント最大220W 充電時間9時間
太陽光	MPPT制御システム 36~70V 最大600W 充電時間3.5時間
車	8mmシガーソケット 12~15V/24~30V 最大100W 充電時間20時間
使用温度帯	-10°C~40°C
保証期間	本体：1年間 バッテリー：2年間

家電 使用可能時間 目安表

スマホ (フル充電)	10W	200台分
ノートパソコン	25W	80時間
デスクトップパソコン	150W	13.3時間
LED投光器10W	10W	200時間
LED投光器100W	100W	20時間
ネット接続端末 (ONU+CTU)	25W	80時間
ビジネスホン交換機 (PBX)	100W	20時間
複合機 コピー時	1500W	1時間
複合機 待機状態	100W	20時間
液晶テレビ50型	175W	11.5時間
家庭用冷蔵庫550L	90W	22時間
ウォーターサーバー 冷水時	80W	25時間
ウォーターサーバー 温水時	350W	5.7時間
電気ポット 沸騰時	700W x 25分	7回
電気ポット 保温時	35W	57時間
電気ケトル	1250w x 1分	100回
IH炊飯器	720w x 40分	4回
IHクッキングヒーター 強火	1400w	1.5時間
IHクッキングヒーター 中火	700w	2.8時間
IHクッキングヒーター 弱火	260w	7.7時間

保証書

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、この保証書に記載されている期間・条件のもとに修理いたします。

※この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
製品名		
製品ID No.		
保証期間		本体：1年間 バッテリー：2年間 （お買い上げ日より）
お買い上げ日 (販売店様記入欄)		年 月 日
備考欄		

販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。

製品の故障が疑われる場合、操作方法などが正しいかを再度ご確認ください。

正しく操作などをしても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店様にご連絡いただきますようお願いいたします。

販売店

--

総輸入販売元：東西商事株式会社

〒106-0044

東京都港区東麻布1-26-8

営業部 TEL03(3585)3353

FAX03(3585)3379

サービスセンター：

TOZAI PDIセンター

〒289-1135

千葉県八街市小谷流町字塚脇117

サービス部 TEL043(45)3137